



協同ショートニュース

2025. 7 . 1 NO. 260



広島医療生活協同短期入所事業所 TEL225-7188
FAX225-7189

7月に入り、梅雨も明け毎日30度以上の猛暑の日が続いており熱中症が不安な時期がやってまいりました。

消防庁の調査によると、熱中症で救急搬送される高齢者のうち、ほとんどが室内で熱中症になると報告されており、エアコンの利用が勧められています。高齢者は体温調節機能が低下しているため身体に熱がこもりやすく、更に喉の渇きを感じにくいため水分補給も充分でない場合があります。

水をたくさん飲むのが苦手という方には、食事から水分を摂取するのもお勧めです。水分を多く含んだ野菜や果物、ゼリーなど本人の好みに合わせてすすめてみてください。

第2回被ばく体験談

今年は被ばくから80年の節目ということで、原爆に合われた利用者様に原爆直後の様子を語っていただきました。

「(広島市) 皆実町で仕事にピカーと光った。家に帰るまで街を歩いたがその光景がとても怖かった」と当時の恐怖を語ってくださいました。原爆の恐ろしさを改めて学ぶことができました。ありがとうございました。



可愛いお客さん♪



ひよこ保育園の年中さん
20人が6月13日にショ
ートに来てくれました。

可愛い元気いっぱいの訪
問者に利用者さんは笑顔い
っぱい、中には嬉しくて泣き
だす方も！

ステキな合唱と一緒に口
ずさみ、風船バレーではウリ
ーが続くように一緒にがん
ばりました。

とても楽しい良い時間を
共有できました。

